
むくげの会ゲストディご案内 ZOOM

日時：2021 年 6 月 15 日（火）午後 7 時から 8 時半

会場：ZOOM

参加費：無料

※参加希望者は、飛田 hida@ksyc.jp までご連絡ください。

ゲスト：佐藤信行さん（在日韓国人問題研究所相談役／『RAIK 通信』編集長）

※佐藤さんは、1947 年、仙台市生まれ。学生時代に在日中国人の学友と共に大学闘争をたたかう。退学後、寺子屋思想講座の「市民がつくる日本古代史の考え方」で歴史学者・李進熙先生と出会い、古代日朝関係史を学ぶ。1974 年創刊準備から 1987 年終刊まで「季刊三千里」で働く。その後、1988 年から在日大韓基督教会の在日韓国人問題研究所（RAIK）で働く。2018 年定年退職して現在は、名誉所長（？）。季刊三千里の先生方が亡くなられた現在、季刊三千里社のことを最も知る人であろうと思います。1980 年代の在日コリアンの指紋拒否運動、1990 年代の在日戦後補償、2000 年代移住者支援等、佐藤さんから聞くべきテーマは多いのですが、今回は「季刊三千里」のことだけをお聞きしたいと思います。佐藤さん自身も、「季刊三千里」に次の論考を書かれています。23 号（1980 年 8 月 1 日）「吉岡増雄・編著『在日朝鮮人の生活と人権——社会保障と民族差別』※読書案内、24 号（1980 年 11 月 1 日）「〈紹介〉帰化行政にみる在日朝鮮人政策」、4 号（1980 年 11 月 1 日）、「内海愛子・村井吉敬『赤道化の朝鮮人叛乱』※読書案内、25 号（1981 年 2 月 1 日）「呉己順さん追悼文集刊行委員会『朝を見ることなく——徐兄弟の母 呉己順さんの生涯』」、28 号（1981 年 11 月 1 日）「日本の学校に在籍する朝鮮人児童・生徒の教育を考える会編『復刻版 むくげ』※読書案内、32 号（1982 年 11 月 1 日）「〈資料〉朝鮮関係記述における検定の実態」、33 号（1983 年 2 月 1 日）「文部省検定教科書の朝鮮像」、34 号（1983 年 5 月 1 日）「内山一雄『在日朝鮮人と教育』※読書案内、35 号（1983 年 8 月 1 日）「西川宏『岡山と朝鮮』※読書案内、36 号（1983 年 11 月 1 日）「小沢有作編『日本語学級の子どもたち』※読書案内、37 号（1984 年 2 月 1 日）「神奈川県自治総合研究センター『神奈川の韓国・朝鮮人』※読書案内、40 号（1984 年 11 月 1 日）「澤正彦『ソウルからの手紙』※読書案内、42 号（1985 年 5 月 1 日）編集部（佐藤信行構成）「ドキュメント 指紋拒否の闘い」、43 号（1985 年 8 月 1 日）「記録 指紋拒否の闘い——'85 年夏」、45 号（1986 年 2 月 1 日）「記録 指紋拒否の闘い——'85 年秋」、47 号（1986 年 8 月 1 日）「記録 指紋拒否の闘い——'86 年夏」、48 号（1986 年 11 月 1 日）「在日朝鮮人——解放後一九四五～五三年の軌跡」、49 号（1987 年 2 月 1 日）「記録 指紋拒否の闘い——'86 年冬」。
